

9

日本の資源・産業・交通網／通信網

解答・解説集 p.10

名前 _____ 年 組 番 _____ 合計得点 _____ / 100

1 日本の資源・エネルギー／農林水産業／工業・第三次産業 ▶ガイドp.20・21 1 2 3

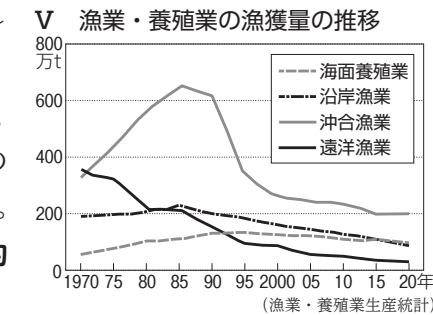
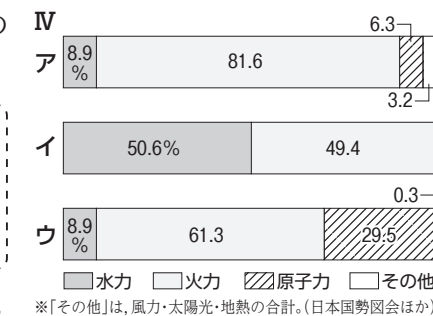
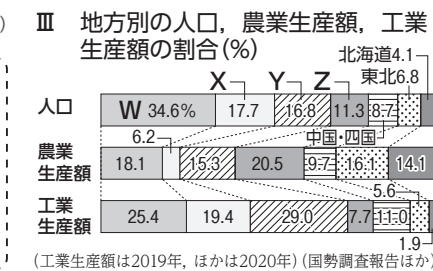
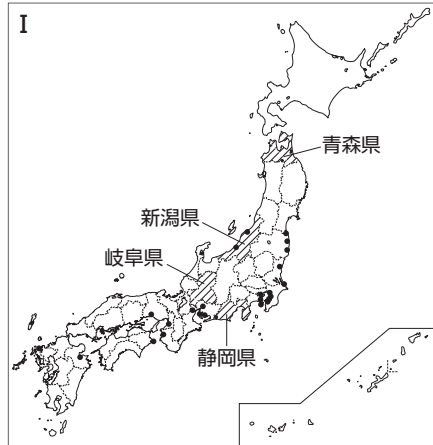
次の問いに答えなさい。

- (1) I 中の青森県、新潟県、静岡県、岐阜県についてまとめた、II 中のA～Cにあてはまる県を、1つずつ書きなさい。(埼玉・改)

II 4県の農業産出額、漁業生産量、工業出荷額

県名	農業産出額(億円)	主な産出物			漁業生産量(t)	工業出荷額(億円)
		米	野菜	果実		
岐阜県	1066	229	323	55	1573	59674
A	1979	198	607	234	178591	176639
B	3138	596	642	914	183524	18031
C	2494	1501	317	86	30481	51212

(工業出荷額は2018年、ほかは2019年) (農林水産省ほか)



1 (6点×10)

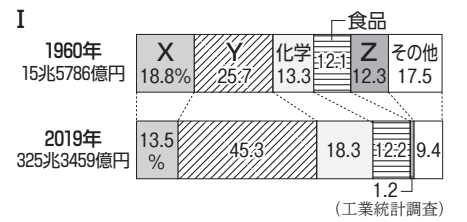
(1)A	県	B	県	C	県	(2)a	地方	b	栽培
(2)c	地方	d	工業地域	(3)		(4)	→	→	
(5)	記述								

ヒント (5) 排他的経済水域と水産資源の関係を考えよう。

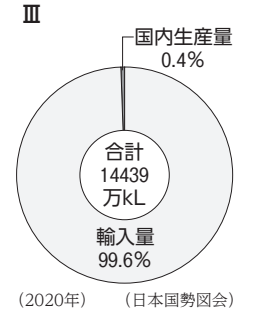
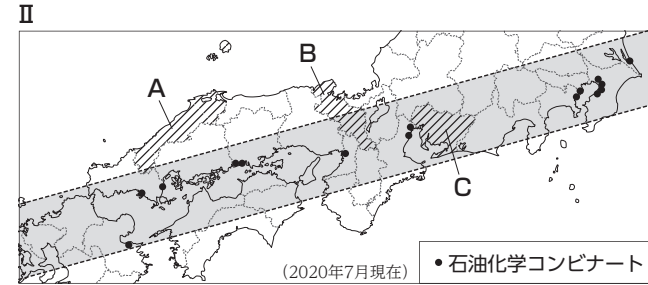
2 日本の工業・第三次産業／日本の交通網・通信網 ▶ガイドp.21 3 4

次の問いに答えなさい。

- (1) 日本の工業は、かつて原料の多くを輸入し、工業製品を輸出することを中心に展開されてきました。このような貿易のことを何といいますか。(滋賀)



- (2) I は、1960年と2019年の日本の工業出荷額の内訳の変化を示したもので、X～Zは、機械、金属、繊維のいずれかです。機械と繊維にあてはまるものを、X～Zから1つずつ選びなさい。(佐賀・改)



- (3) II は石油化学コンビナートの所在地を、III は日本における石油の国内生産量と輸入量の割合を表したものです。次の問いに答えなさい。(埼玉)

- ① 記述 石油化学コンビナートが、臨海部に集中している理由を、IIIを見て、簡単に書きなさい。

- ② 工業地域や工業地帯が帯状に形成された、IIの地図中に示した地域の名称を書きなさい。

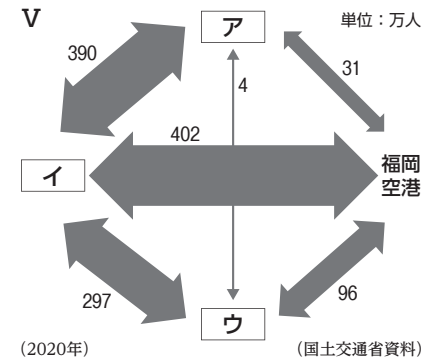
- (4) IVは、IIの地図中のA～Cの府県の、いくつかの業種の就業者数に占める割合を示しています。Cにあてはまるものを、ア～ウから1つ選びなさい。(鹿児島)

IV 単位: %

国	農林水産業	製造業	宿泊・飲食・サービス業
ア	2.0	25.0	5.6
イ	1.7	16.9	7.1
ウ	6.1	13.6	4.9

(2017年) (県勢)

- (5) Vは、羽田(東京都)、新千歳(北海道)、福岡、那覇(沖縄県)の各空港間における定期航空路線の旅客数を示したもので、V中のア～ウは、羽田、新千歳、那覇のいずれかです。那覇空港にあてはまるものを、ア～ウから1つ選びなさい。(佐賀)



- (6) 記述 VIは、日本における海上輸送と航空輸送について、総輸入額、総輸入量、主な品目をそれぞれ示しています。どのような品目が海上輸送に適していると考えられますか。VIをもとに、簡単に書きなさい。

VI

輸送方法	海上輸送	航空輸送
総輸入額(億円)	567981	215782
総輸入量(万t)	73793	224
主な品目	原油 液化ガス 石炭 鉄鉱石	医薬品 半導体等電子部品 事務用機器 科学光学機器

(2019年) (国土交通省資料, 日本国勢協会)

2

(1)	(2)機械	繊維
(3)①		
(3)②	(4)	(5)
(6)		

ヒント (6) 重量と価格に着目しよう。

解答

1 (6点×10)

(1)A 静岡県	B 青森県	C 新潟県	(2)a 九州地方	b 促成栽培
(2)c 中部地方	d 東海工業地域	(3) 火力	(4) イ → ウ → ア	
(5) 例 1970年代, 排他的経済水域を設定して水産資源の管理を強める国が増えたから。				

2 (5点×8)

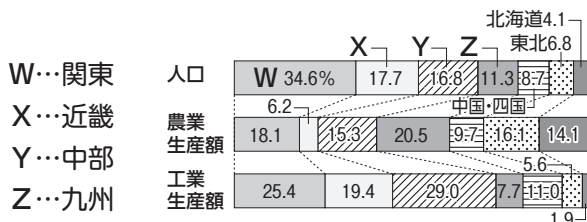
(1) 加工貿易	(2)機械 Y	繊維 Z
(3)① 例 日本は石油を輸入にたよっていて, 船で海外から運び入れるから。		
(3)② 太平洋ベルト	(4) ア	(5) ウ
(6) 例 重くてかさばり, 重量あたりの価格が安いもの。		

採点基準

- 1
- (3) 漢字でなければ不可。
 (4) 全部できて得点。
 (5) 別解 排他的経済水域を設定する国が増え, 漁を自由に行える海域が減ったから。
- 2
- (3)① 別解 原料である石油を輸入するのに, 臨海部が便利だから。
 (6) 別解 鉱産資源のように重量があり, 重量あたりの単価が比較的安いもの。

考え方・解き方

- 1
- (1) 静岡県には東海工業地域があります。青森県ではりんご(果実)の生産, 新潟県では米の生産が盛んです。
 (2) 促成栽培は, 九州地方の宮崎平野などで盛んです。中部地方には, 愛知県を中心とする中京工業地帯や, 静岡県に広がる東海工業地域があります。



- (3) 現在は, 日本の発電量の大部分を火力発電がしています。
 (4) 雨が多く山がちな日本では, かつては水力発電が中心でした。2000年には原子力発電の割合が増加しましたが, 2011年に起こった原子力発電所の事故をきっかけに原子力発電の割合が大きく減少しました。
 (5) 遠洋漁業の減少の理由には, 排他的経済水域の設定のほか, 船の燃料費が上がったことがあります。

- 2
- (2) 割合が増えているYが機械, 最も割合が減っているZが繊維です。
 (3)① 日本の石油化学コンビナートでは, 原料となる石油は外国からの輸入にたよっています。

(3)① *記述のポイント

この語句を使おう! 「輸入」

読み取り 石油の輸入量はほぼ100%です。

内容 石油の輸入に便利であることを書きます。

条件 理由を答えるので, 文末は「～から」など。

- (4) 農林水産業の割合が高いウがAの島根県, 宿泊・飲食・サービス業の割合が高いイが観光地が多いBの京都府, 製造業の割合が高いアが, 中京工業地帯の中心地であるCの愛知県です。
 (5) 旅客数が最も多いイが羽田, 羽田以外の旅客数が少ないアが新千歳, 福岡の旅客数が多いウが那覇です。
 (6) 航空輸送(航空機)は, 積み込める重さの上限が海上輸送(船)よりも低く, また, 輸送コストも高いため, 主に小型・軽量・高価なものを運びます。

(6) *記述のポイント

この語句を使おう! 「重い」「安い」

読み取り 航空輸送と比べて, 重いものが多く, 輸入額÷輸入量で見ると, 重量あたりの価格が安いです。

内容 表から読み取れる, 海上輸送の主な品目の重量と価格の特徴を書きます。

(5) *記述のポイント

この語句を使おう! 「排他的経済水域」

内容 排他的経済水域の設定によって, 外国で自由に漁業ができなくなったことを書きます。

条件 指定語句「排他的経済水域」を使って書きます。理由を答えるので, 文末は「～から」など。